

株主の皆さまへ

2022年度 [第2四半期報告書]

2022.4.1 » 2022.9.30



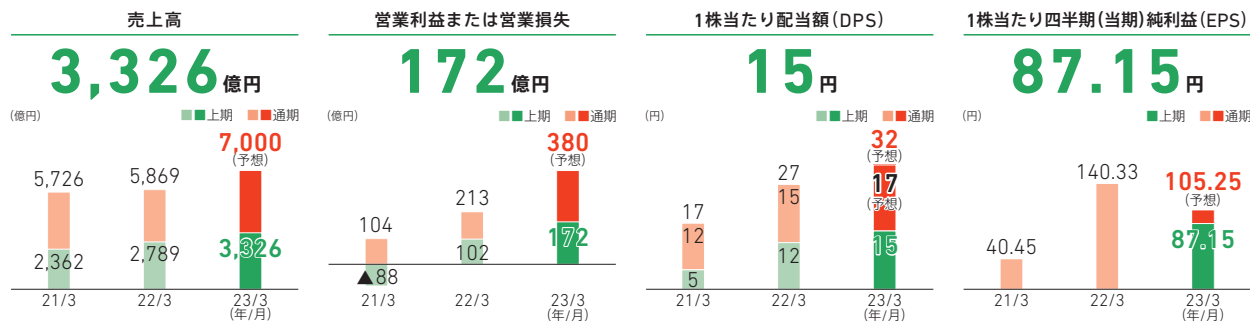
まっすぐに。しなやかに。

平素より格別のご高配を賜り
厚く御礼申しあげます。
株主の皆さまにおかれましては、
今後とも一層のご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申しあげます。

代表取締役社長 茅本 隆司

Q/ 2022年度上期の業績について教えてください。

A/ 主要な事業分野であります自動車関連市場における自動車生産台数は、前年同期に対し、日本、北米(米国・カナダ)、タイでは増加となりましたが、中国では減少となりました。もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連市場においては、HDD(ハードディスクドライブ)の世界生産台数が前年同期比で減少し、当社の主力製品でありますサスペンションの総需要は減少となりました。



その他の財務指標に関してはファクトブックをご覧ください

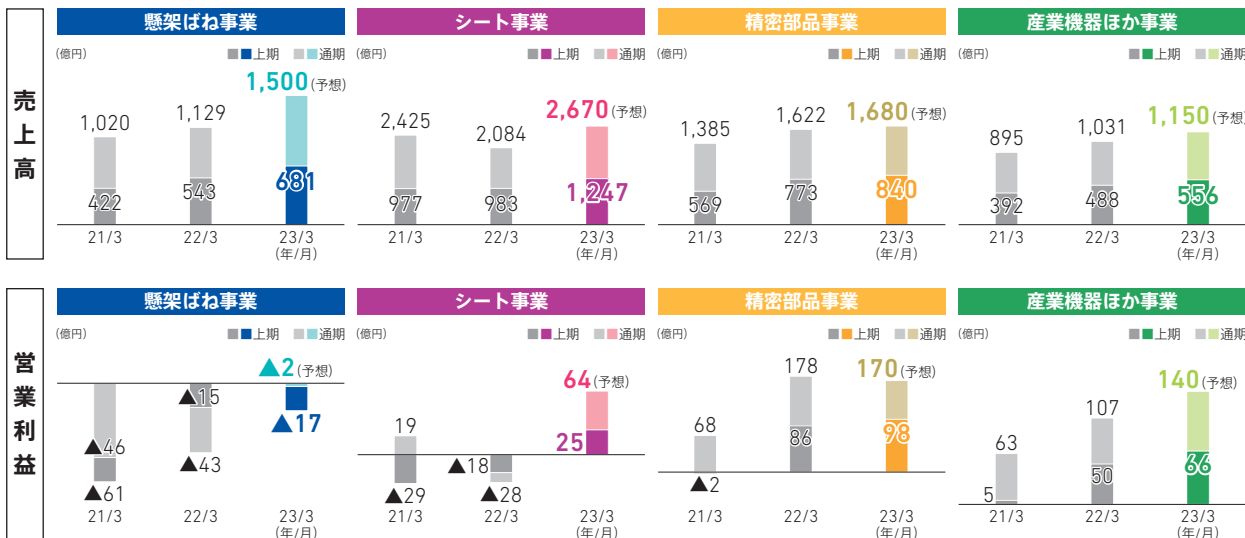
<https://www.nhkspg.co.jp/ir/library/factbook.html>



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

以上のような経営環境のもと、売上高は、コロナ禍からの需要回復や為替の円安影響もあり前年同期に対し、すべての事業セグメントにおいて増収となりました。

営業利益は、懸架ばね事業では、原材料や物流、動力光熱費などの価格高騰の影響を大きく受けたため前年同期に対して減益となりました。シート事業、精密部品事業、産業機器ほか事業につきましても、懸架ばね事業同様に原材料や物流、動力光熱費などの価格高騰の影響を受けており厳しい環境ではありますが、自動車生産の回復基調や為替の円安影響を追い風に増益となりました。事業環境が大きく変化する中、当社グループ一丸となって原価低減活動に尽力したことにより上期の営業利益は過去最高益を達成いたしました。



Q 2022年度通期の業績予想と今後の目標について教えてください。

A 通期の連結業績予想は、当第2四半期の連結実績および為替の動向を踏まえ、売上高を上方修正いたしました。下期は、上期に引き続きコロナ禍、半導体の需給ひっ迫および各種資材の価格高騰や為替変動による影響、ロシアのウクライナ侵攻などにより、先行き不透明な状況が想定されますが、当社グループ一丸となってさらなる原価低減活動を継続し、稼ぐ力の一層の向上に努めてまいります。

また、2023年度中期経営計画の達成に向け、さらなる総原価低減や魅力ある商品開発による収益基盤の強化に取り組むつつ、自動車の電動化、自動運転への対応をスピーディに進め、気候変動などの社会課題を踏まえた次世代根幹事業の創出にも取り組んでまいります。

引き続き株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Topics

1 成長分野への積極的な投資および生産能力増強

当社は電動車分野や情報通信分野など、今後成長が見込まれる分野に対する積極的な投資を行っています。

情報通信分野では、半導体プロセス部品を製造する宮田工場（長野県）の生産能力増強のため、35億円を投じて新しい生産棟を建設します。今後も数十億円規模の投資を順次行い、当事業の売上高を2021年度の184億円から、2025年以降には300億円を超えるレベルに引き上げていく計画です。2022年10月に新生産棟起工式を行い、建設工事の安全を祈願しました。他にもモーターコアや金属基板、HDD用サスペンションなどにおいても、積極的投資を行う計画をしており、需要の高まりに対応していきます。



©SkyDrive

Topics

2 株式会社SkyDriveへの出資および業務提携

当社は、「空飛ぶクルマ」と「カーゴドローン」を開発する株式会社SkyDrive（以下SkyDrive社）へ出資し、同時に業務提携も行いました。

「空飛ぶクルマ」は将来的に離島や山間部の新たな移動手段、災害時の救急搬送、都市部でのタクシーサービスなどに繋がるものとして期待されており、経済産業省と国土交通省が共同事務局となる「空の移動革命に向けた官民協議会」では2030年代からの本格普及が想定されています。当社の技術協力と資本関係の構築によりSkyDrive社とのシナジー効果を発揮していきます。

Topics

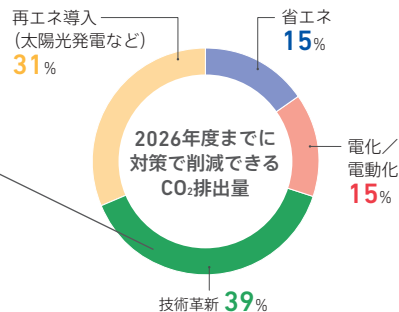
3 カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

当社グループは2039年カーボンニュートラル達成に向けて、まずは2026年度を目標年度とした中期削減計画を策定し、取り組みを進めています。

【技術革新の例：巻きばね・スタビライザの通電加熱】

ばねの製造過程において、ばね素材の耐久性を高めるために「焼入れ」「焼戻し」という熱処理加工を行います。

この熱する工程を、都市ガス炉からより環境負荷の少ない電気をを用いた通電加熱への移行を進めることで、CO₂排出量の削減が可能となります。





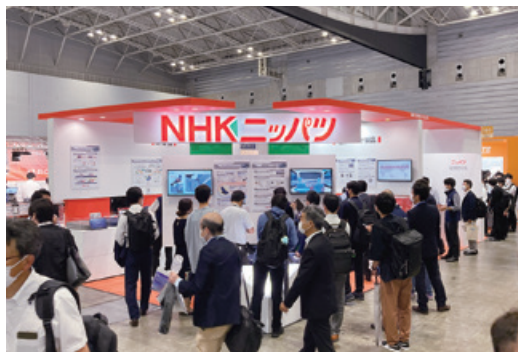
4 **当社アスリート社員の竜田選手が 日本陸上競技選手権大会で優勝**

棒高跳の竜田夏苗選手(当社人事部所属)が、2022年6月開催の「第106回日本陸上競技選手権大会」の女子棒高跳に出場しました。竜田選手は、当社の研究開発部が開発・製作したポールを使用し、4m25の記録で優勝しました。同大会では7年ぶり3回目の優勝です。

5 **人とくるまのテクノロジー展に出展**

2022年5月(横浜)と6月・7月(名古屋)に、自動車技術会主催の「人とくるまのテクノロジー展2022」がリアル会場とオンラインのハイブリッド形式で開催され、当社はコロナ禍による出展見合わせにより3年ぶりの出展となりました。

「ニッパツ & CASE」というテーマで、電動化や自動運転化に関する製品・技術・開発品を紹介しました。会場全体の来場者数はコロナ禍前と比べると半減しましたが、当社のブースへはコロナ前よりも多くの業界関係者が訪れました。



[展示例: 自動運転化に向けた車酔い低減シート]



車酔いは、目から入る視覚情報と、三半規管などの前庭器官で感じる情報間のズレにより、脳が混乱して発生する現象です。自動運転化が進み、ドライバーが車載パネル上の映像やスマートフォンなどを楽しむようになると、従来車酔いしにくいとされていたドライバーにも車酔いが発生しやすくなると考えられます。そこで、当社は、後頭部を支えて頭部の傾きを抑制するヘッドレストを開発しました。傾きが抑制されることで情報のズレを小さくし、車酔いを低減することができます。

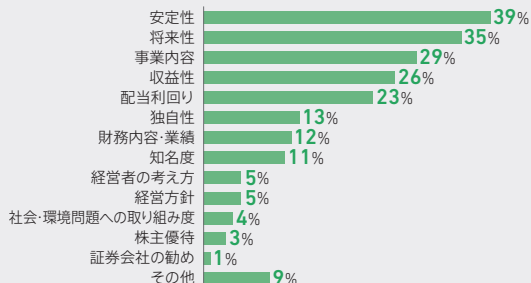
▲ 実験では、従来型シートと比較して車酔い発症までの時間が約3倍に増加

株主アンケート結果のご報告

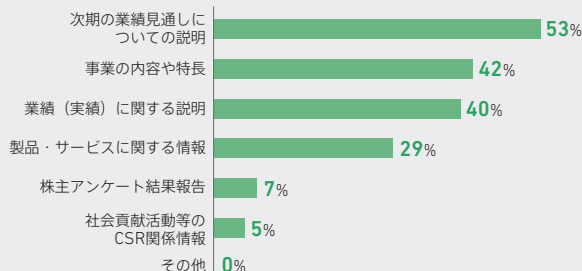
当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、株主アンケートを実施しています。「株主の皆さまへ 2021年度第2四半期報告書」にてご協力をお願いした結果、多くの株主様からご回答いただきました。ここにアンケートの集計結果の一部についてご報告いたします。

アンケート集計結果

○ 当社の株式を購入された理由は何ですか



○ 今後、株主通信へ掲載の充実を希望する情報をお選び下さい



株主様からのご意見

Q コロナ禍の業績達成に期待しています。会社の業績を上げ、株価も上げてください。

A 1～2ページで業績についてご説明しています。今後も継続的な企業価値向上を目指します。

Q 新製品など、期中のトピックスを掲載してほしいです。

A 今回の「株主の皆さまへ」では、新たにトピックスページを設けましたので、ぜひご覧ください。

- 報告書が多色できれいで分かりやすい。
- 日本を代表するバネ会社のイメージだったが考え方が変わった。
- トップメーカーとしての、株価上昇を期待しています。
- コロナ禍の業績達成に期待しています。 など

多くのご回答ありがとうございました。

皆さまよりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後のIR活動に活かしてまいります。

会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	日本発条株式会社
創立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億956万6,312円
従業員数	5,131名(単独)21,082名(連結) ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
本社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
上場	東証プライム(コード5991)
グループ会社	56社(内連結対象会社38社、持分法適用会社8社)
国内	23社
海外	33社

従業員数は、2022年3月31日現在の人数です。

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	11,716名

大株主

(2022年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,559	12.95
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,392	9.81
双日株式会社	13,199	5.78
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	11,472	5.03
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	9,504	4.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,889	3.90
大同特殊鋼株式会社	8,507	3.73
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	5,753	2.52
株式会社横浜銀行(常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	5,718	2.51
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,601	2.45

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

※当社は、自己株式15,848,363株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5991

いいかぶ

検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンからもアクセスできます QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。 QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



● アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

● アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当を行う場合は9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 https://www.nhkspg.co.jp/

お知らせ

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記 三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次いたします。なお、特別口座に記載された株式を売却するためには証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替えるお手続きが必要となります。
- ただし、下記3.にご説明します単元未満株式(100株未満の株式)については、証券口座に振替をせずに売却することが可能です。
これについては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- 市場で売買できない単元未満株式につきましては、当社に対してご所有の株式を時価で売却すること(買取請求)、または単元株となるまでの不足株式数を当社から購入すること(買増請求)ができます。いずれのお手続きも口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記載された株式については、三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

ニッパツレポート2022を発行しました

当社グループのサステナビリティに関する考え方や、2021年度の事業活動などをまとめました。ぜひご覧いただき、当社グループの取り組みへのご理解を深めていただく機会となれば幸いです。

当社横浜事業所を
バーチャル見学いただけます

当社ホームページ上に、当社横浜事業所内の本社や厚生棟をバーチャル見学いただけるサイトを公開しました。事業所内の雰囲気だけでなく、製品紹介や開発者の声などもご覧いただけます。

